

## シラバス

科目名	総合講座Ⅱb		担当者名	瀬戸口 仁	
学 科	公務員科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	行政に関連する様々な問題や課題を確認し、どう対応すべきかを考えていく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員や社会人にふさわしい倫理・道徳観ならびに知識を身につける。				
授業概要	授業ごとに用意された各種資料から今日の行政や国民生活が抱えるテーマ・課題を押さえた上で、各自は行政の一員(あるいは社会の一員)として、ディスカッションしながら、それらの理解をつとめ、どのように業務を行うべきか、また生活していくべきかを考えていく。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス	19	公務員の仕事の特徴 租税や生活保護	
	2	公務員の不祥事対策 セクハラ	20	公務員の仕事の特徴 し尿処理	
	3	公務員の不祥事対策 パワハラ	21	公務員の仕事の特徴 ごみ処理	
	4	高齢者対策	22	性的犯罪に関する治安対策について	
	5	男女共同参画社会をめざして	23	薬物規制について	
	6	大規模水害対策	24	障害者の社会参加について	
	7	子どもの貧困対策	25	リスク社会をどう生きるか	
	8	児童虐待対策	26	表現の自由をめぐる問題(その1)	
	9	個人情報保護法について	27	表現の自由をめぐる問題(その2)	
	10	特定秘密保護法	28	混乱する世界情勢をどう生きるか	
	11	規制緩和の意義と問題点	29	ウクライナ侵攻について	
	12	憲法改正と国民投票法	30	国際連合の意味	
	13	討論の仕方(その1)	31	あおり運転について	
	14	討論の仕方(その2)	32	マイナンバー制度について考える	
	15	前期期末試験	33	タトゥーの是非	
	16	公務員の仕事の特徴 避難勧告	34	現代家族の形態	
	17	公務員の仕事の特徴 海上保安庁	35	後期期末試験	
18	公務員の仕事の特徴 警察	36	まとめ		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	授業の終わりに質問を受け付ける	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 C60~69 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>70% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において十分な教育経験を有し、大学での指導経験も有す。				

## シラバス

科目名	自然科学Ⅱb		担当者名	高橋 市郎	
学 科	公務員科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	公務員試験の自然科学科目対策講座。試験対策に加え、自然現象を論理的に理解する能力を養う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	国家公務員、地方公務員の各自然科学分野の問題を解く能力を身に着けること。				
授業概要	物理、化学、生物の各分野における習熟に時間のかかる内容について物理を中心に学習し既出の公務員試験問題対策を行う。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	速度・加速度(1)	19	熱とエネルギー	
	2	速度・加速度(2)	20	熱とエネルギー 演習	
	3	速度・加速度 演習	21	波動(1) 波の性質	
	4	落下運動(1)	22	波動(2) 音波・光波	
	5	落下運動(2)	23	波動 総合演習	
	6	落下運動 演習	24	電磁気学(1) 電界、電位、コンデンサ	
	7	力のつり合い(1)	25	電磁気学(2) 電流と磁界	
	8	力のつり合い(2)	26	電磁気学(3) 電磁誘導	
	9	力のつり合い 演習	27	電磁気学(4) 電気回路	
	10	運動の法則	28	電磁気学 総合演習	
	11	運動の法則	29	原子物理(1) 電子と光	
	12	力学的エネルギー	30	原子物理(2) 原子の構造	
	13	力学的エネルギー 演習	31	原子物理(3) 原子核と放射線	
	14	運動量の保存	32	原子物理 演習	
	15	運動量の保存 演習	33	実践問題演習と解説(1)	
	16	実践問題演習と解説(1)	34	実践問題演習と解説(2)	
	17	実践問題演習と解説(2)	35	実践問題演習と解説(3)	
	18	実践問題演習と解説(3)	36	実践問題演習と解説(4)	
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	授業の進度、水準は学生の理解度を考慮して進める。	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	0%	成績評価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は博士(工学)の学位を有し、専門学校において電気物理の分野で十分な教育経験を有す。				

## シラバス

科目名	行政法Ⅱa		担当者名	宮坂 友造	
学 科	公務員科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	本講義は、行政法に関する基礎知識の修得、重要判例の購読を中心に、より深い行政法の理解を目指すことを目的とします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	行政法をめぐる論点を概観し、法的思考力・解決力を伸ばしつつ、資格試験(行政書士試験)にも対応できる能力を身につけることを目標とします。				
授業概要	この授業では行政法を学びますが、行政法という名前の法律は存在しません。「行政(国や自治体)の活動」のルールのことを「行政法」と呼んでいます。例えば、税務署の職員が私たち国民から税金を徴収したり、警察官がスピード違反の車を取り締まったりする際には、この「行政法」というルールに従って行わなければならない必要があります。 そこで「行政法」がどのような内容になっているのかを学ぶのが、「行政法学」になります。そして「行政法学」は、行政組織法、行政作用法、行政救済法という3つの分野に分かれています。 そこで、本講義では、この3つの分野について、毎回レジュメを配布し、講義形式で学習していきます。また、六法で条文を参照したり、判例を読むなどして、法律に慣れてもらいたいと思います。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション①	19	行政指導	
	2	オリエンテーション②	20	処分等の求め、届出、命令等を定める手続	
	3	オリエンテーション③	21	適用除外	
	4	行政法とは 行政法の基本原理	22	行政救済法とは	
	5	行政組織法概観	23	行政不服申立て①-対象・種類	
	6	行政主体	24	行政不服申立て②-要件	
	7	行政機関①	25	行政不服申立て③-審理手続	
	8	行政機関②	26	行政不服申立て④-裁決、決定	
	9	行政機関③	27	行政事件訴訟法	
	10	行政作用法とは	28	取消訴訟①-対象・要件	
	11	行政行為の種類	29	取消訴訟②-審理手続	
	12	行政行為の効力	30	取消訴訟③-判決	
	13	行政裁量	31	国家賠償法①	
	14	行政上の強制措置	32	国家賠償法②	
	15	行政立法	33	国家賠償法③	
	16	その他の行政作用	34	まとめ①	
	17	行政手続法とは	35	まとめ②	
	18	処分	36	まとめ③	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	前期・後期成績表送付	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>5%				
講師プロフィール	中央大学通信教育部インストラクター 行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり				

## シラバス

科目名	応用ゼミ		担当者名	吉田 多恵		
学 科	公務員科		授業方法	ゼミ		
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間	
授業目的	①学びを実社会で体現する ②実会社をクライアントとすることで緊張感ある空気の中で学習する ③社会実装する上での計画やヒアリング、コストやスケジュールの計画、課題解決方法などを学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	クライアントとの情報交換から、共有課題に向けて学校が指導、学生が主体的に取り組み課題解決を実体験する					
授業概要	市場の調査、要因を調査したうえ、前期までにまとめ、対策を提示し、クライアントと共に1月末までに問題解決をはかる					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション/概要説明	19	イベント企画		
	2	オリエンテーション/チームビルド	20	イベント会場下見・打合せ		
	3	オリエンテーション/チームビルド	21	イベント準備①		
	4	歌舞伎市場調査現状把握	22	イベント準備②		
	5	調査結果学内共有	23	イベント準備③		
	6	共有振り返り	24	イベント準備④		
	7	クライアント企業紹介	25	イベント開催		
	8	クライアント企業調査	26	イベント振り返り		
	9	クライアント企業ヒアリング	27	年始集客案考察		
	10	フィールドワーク地調査①	28	年始集客案資料作成①		
	11	フィールドワーク地調査②	29	年始集客案資料作成②		
	12	フィールドワーク調査内容まとめ	30	クライアントへ年始集客案プレゼン		
	13	フィールドワーク	31	プレゼン振り返り		
	14	フィールドワーク振り返り	32	学内共有会資料作成		
	15	プレゼン資料作成	33	学内プレ共有会		
	16	企業へのプレプレゼン	34	学内共有会		
	17	企業へプレゼン	35	共有会振り返り		
	18	前期振り返り	36	まとめ		
成績割合	テスト		%	学習FB方法	前期、後期 成績表送付	
	学習態度・出席率		80%			
	レポート		20%	成績評価	出席率80%以上 S:90~100点 A:80~89 B:70~79点 C:60~69点	
	合計		100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100 R<<実働実践型学習>>50 A<<主体的参加型学習>>100 G<<海外体感型学習>>70					
講師プロフィール	法律情報科教員					

## シラバス

科目名	情報科学Ⅱb		担当者名	波多野 将明		
学 科	公務員科		授業方法	実習		
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	72時間	
開講学年	2学年	必・選				
授業目的	情報機器を動かしているプログラムの基本的な動作を学ぶ。プログラミングとはどのようなものか知る。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	情報セキュリティの重要性を理解する。python言語を用い簡単なプログラムを作成実行できるようになる。					
授業概要	情報機器の動作原理を知る。コンピュータで実践しながらプログラミングについて学ぶ。					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション	19	if文		
	2	オリエンテーション	20	いろいろなif文1		
	3	オリエンテーション	21	いろいろなif文2		
	4	ファイルシステム1 フォルダの作成 移動1	22	いろいろなif文3		
	5	ファイルシステム2 フォルダの移動2 名前変更	23	while文		
	6	エディターの使い方1	24	for文		
	7	エディターの使い方2	25	繰り返し処理を使ったプログラム1		
	8	Pythonとは	26	繰り返し処理を使ったプログラム2		
	9	Pythonのインストールと実行	27	繰り返し処理を使ったプログラム3		
	10	Hello Worldプログラム	28	繰り返し処理を使ったプログラム4		
	11	変数、代入演算子	29	繰り返し処理を使ったプログラム5		
	12	input関数	30	関数とは		
	13	Pythonでの計算	31	呼び出しと戻り値		
	14	いろいろな演算	32	位置引数とキーワード引数		
	15	文字列の基本	33	課題プログラム作成		
	16	文字列の利用1	34	まとめ		
	17	文字列の利用2	35	まとめ		
18	文字列の利用3	36	まとめ			
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	プログラム作成に関するアドバイス プログラム内のミスの指摘		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 C60~69 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>4 R<<実働実践型学習>>3 A<<主体的参加型学習>>3 G<<海外体感型学習>>0					
講師プロフィール	教員はソフトウェア開発実務経験がある。					

## シラバス

科目名	人文社会科学Ⅱd		担当者名	杉谷 武信	
学 科	公務員科		授業方法	講義	
認定単位	8単位	開講期	必選	授業時間数	144時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	社会科学と人文科学を合わせて取り扱う。社会科学は政治や経済などの仕組みを理解し、人文科学は日本史や世界史、地理、思想を理解し、公務員試験に合格する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。あわせて、現状の政治や経済を論理的に理解し、かつ諸現象の歴史的背景を知ることにより、現状を相対的かつ批判的にとらえる能力と、道徳性・視野の広さを身につける。				
授業概要	(1)前期については、1年次で学んだことをふまえ、公務員試験の問題演習に取り組む。 【社会科学】政治分野では各国の政治体制や日本国憲法における自由権・社会権、三権分立(国会・内閣・裁判所)、選挙制度、経済分野では国民所得や経済動向、財政や日銀の金融政策、社会分野では人口や地球環境問題など頻出されやすい事項に絞る。 【人文科学】近代の日本史・世界史、倫理、地理の頻出問題を解いていく。 (2)後期は、私たちの日常生活における行為を出発点とし、倫理や社会学の知識を主として用いながら、社会の秩序がどのようにして可能かを、かつそれがはらむ問題性を考える。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス 授業の方針について	19	問題演習 各国地誌	
	2	問題演習 国家機能の変遷 社会契約説	20	問題演習 倫理	
	3	問題演習 日本国憲法における基本的人権	21	今年度で実施されたⅡ・Ⅲ類の教養試験の解説(その1)	
	4	問題演習 日本の三権分立	22	今年度で実施されたⅡ・Ⅲ類の教養試験の解説(その2)	
	5	問題演習 地方自治・国際政治	23	社会秩序はどのようにして可能か アダム・スミスの「同感」にもとづいて考える	
	6	問題演習 市場と企業形態	24	社会秩序はどのようにして可能か アダム・スミスの「見えざる手」にもとづいて考える	
	7	問題演習 国民所得と景気動向	25	社会秩序はどのようにして可能か ヘーゲルの市民社会・国家論にもとづいて考える	
	8	問題演習 日銀の金融政策と財政	26	社会秩序はどのようにして可能か デュルケムの社会学にもとづいて考える	
	9	問題演習 日本の経済発展 戦後の国際経済体制	27	社会秩序はどのようにして可能か 社会学の行為論(行為の価値志向性)にもとづいて考える	
	10	問題演習 労働問題・人口問題・地球環境問題	28	社会秩序はどのようにして可能か 社会学の行為論(社会的相互行為)にもとづいて考える	
	11	問題演習 日本近世史	29	社会秩序はどのようにして可能か 社会学のパーソナリティ論を用いて考える	
	12	問題演習 日本近代史	30	社会秩序はどのようにして可能か システムへの同調の視点から考える	
	13	問題演習 ヨーロッパ近世史	31	社会秩序の多元性について	
	14	問題演習 ヨーロッパ近代史	32	社会秩序はどのようにして可能か システムからの逸脱をふまえて考える(その1)	
	15	問題演習 日本と世界の現代史・文化史	33	社会秩序はどのようにして可能か システムからの逸脱をふまえて考える(その2)	
	16	問題演習 中国史	34	社会秩序はどのようにして可能か システムからの逸脱をふまえて考える(その3)	
	17	問題演習 地図情報・地球環境	35	後期期末試験とその解説	
18	前期まとめ 前期期末試験とその解説	36	まとめ 全授業に対する質疑応答		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において社会・人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。				

## シラバス

科目名	文章理解Ⅱa		担当者名	堀切 昌美		
学 科	公務員科		授業方法	講義		
認定単位	2単位	開講期	必選	授業時間数	36時間	
開講学年	2学年	必・選				
授業目的	公務員採用試験一次突破することを目指し、国語力を高める。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員一次試験の文章理解の問題に対し、解き方を学ぶ。自信をもって誤った選択肢を消去することができるようにする。また、社会人としての漢字力・語彙力を高め、熟語やことわざなどの意味を知り、文章や日常会話での理解を高める。					
授業概要	航空学科2学年と合同授業で、前期は公務員試験対策が中心になる。過去問を踏まえ実践力をつけていく。後期は、様々な文章を読み、要約したり意見交換することで、文章力を高める。また、社会に必要な実用文に慣れる。就職試験対策SPI言語もとりいれ、内定確定までのフォローを継続し指導していく。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	文章合致問題のポイントを知る。テキスト読解。	19	文章の要約をし、社会の問題点を把握する。		
	2	過去問にそって、解答・解説	20	文章の要約をし、社会の問題点を把握する。		
	3	趣旨把握問題のポイントを知る。接続詞の働き、キーワードの見極め	21	文章の要約をし、筆者の主張を読み取る。		
	4	テキスト応用・過去問解答解説	22	文章の要約をし、筆者の主張を読み取る。		
	5	空欄補充問題の解き方、空欄の数と答え方	23	SPI Web対策		
	6	テキスト応用・過去問解答解説	24	一般常識 就職試験内容		
	7	文章整序問題のポイントを知る	25	試験と解答解説		
	8	テキスト応用・過去問解答解説	26	コンセンサスのとり方		
	9	文章合致問題・趣旨把握問題・空欄補充問題・文章整序問題 テキスト対応	27	会社ゲーム 学生と社会人の違い		
	10	国家一般・特別区・警察・海保の過去問対応	28	社会の問題について		
	11	古文の解き方のポイント、実践	29	読解し、自身の意見を持つ		
	12	漢字の読み、四字熟語	30	読解し、自身の意見をもつ		
	13	慣用句・諺・故事成語	31	業界紙・雑誌から興味のあるものを紹介して文を作る		
	14	類義語・対義語 語句の成り立ち 敬語	32	記事のテーマを共有、小論文作成に繋げる		
	15	時間を図って時間内に指定した問題数を解き、その後チームで正答の解説をする。	33	記事のテーマを共有、小論文作成に繋げる		
	16	指定時間内に問題を解き、各自解説できるように、なんとなくで選択しない読解の視点を確認する。	34	卒業を前に、互いを深める		
	17	受検種に沿って問題を解く。	35	定期試験とその解説		
	18	試験の解答解説、ふりかえりも行い、直前対策とする。	36	総評		
成績割合	テスト	50	学習FB方法	100-90点がS、89-80点がA、79-70点がB、69-60点がC 59点以下は不合格とする。		
	学習態度・出席率	25				
	レポート	25	成績評価			
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫60% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール						

## シラバス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担当者名	加賀 俊哉	
学 科	公務員科		授業方法	講義	
認定単位	2単位	開 講 期	必 選	授 業 時 間 数	36時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	卒後VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒後Visionを叶えるための知識・経験を積む。				
授業概要	社会生活に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身につける。ロールプレイやフィールドワークなどを通じ、体得する。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション・就活状況の確認	19	後期の講義内容に関して&個人面談	
	2	内定後の過ごし方&個人面談①	20	挨拶・マナー①報連相・PDCAサイクル	
	3	一般常識ワーク&個人面談②	21	一般常識ワーク&個人面談①	
	4	ビジネス書読書&個人面談③	22	一般常識ワーク&個人面談②	
	5	【自習】目指す業界の未来を考える&個別面談	23	ビジネス書読書&個人面談③	
	6	【自習】企業研究(国内外)&個人面談	24	トークセッション(OBOGを招いて:社会人予備軍対象)	
	7	目指す業界の未来を発表する	25	前期で上がった課題に関するワーク	
	8	【自習】第二志望の業界を調べる&個人面談	26	就職後の目標設定①	
	9	【自習】夢の根っこの共通職種・業界を考える&個人面談	27	就職後の目標設定②	
	10	社会人基礎力①前に踏み出す力(グループワーク)&個人面談	28	コミュニケーションスキル①聴く力	
	11	社会人基礎力②考え抜く力(グループワーク)&個人面談	29	コミュニケーションスキル②理解する力	
	12	社会人基礎力③チームで働く力(グループワーク)&個人面談	30	コミュニケーションスキル③伝える力	
	13	海外で働くことをイメージ	31	個人面談④ 卒後ビジョンを基に	
	14	一般常識ワーク&個人面談④	32	個人面談⑤ 卒後ビジョンを基に	
	15	一般常識ワーク&個人面談⑤	33	個人面談⑥ 卒後ビジョンを基に	
	16	前期 振り返りと課題発見	34	確認テスト・まとめ1	
	17	後期の課題解決に向けたGD	35	確認テスト・まとめ2	
18	前期 振り返り	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	確認テスト(5回) 30%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB	
	学習態度・出席率				
	レポート	卒後ビジョンの提出 70%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール					



## シラバス

科目名	数的処理Ⅱc		担当者名	佐藤 保幸	
学 科	公務員科		授業方法	講義	
認定単位	6単位	開講期	必選	授業時間数	108時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	文章や資料を読み、表や図、数字を用いて論理的に考える力をつける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	前期では1年時に学習した数的処理Ⅰに引き続き、数的処理の理解を深めていくことを目的とする。そして、数的処理の問題で正答率6割を目標に、点数の取り方を身に付けてもらいたい。後期では、財務諸表を読めるようにする。「読める」と一口で言っても、単に電卓をたたいて数字を出すわけではない。財務諸表を通じて、社会を知ってもらうことが目標である。				
授業概要	前期では、数的処理の数的推理、判断推理、空間把握、資料解釈の4分野を総合的に演習しながら理解を深めていく。さらに、各問題の難易度の見分け方や点数の取り方など、実戦的な訓練を行っていく。後期では、数的処理で学んだ、割合、利益計算、推論、最適化、資料解釈の手法を用いて、有名企業の財務諸表の分析を行う。財務諸表は読み方だけでなく、財務諸表には何が書かれていて、何がわかるのか、逆に数字からわからないことは何かを知ることが大事である。この作業を通じて、企業の客観的な評価の仕方を学んでもらう。広い意味で「評価」とは何かを知る機会にもしたい。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	数的推理復習と応用①	19	数的処理応用(お金とは/通貨/価値とは/市場)	
	2	数的推理復習と応用②	20	数的処理応用(需要と供給、需給曲線/物価/GDPと景気/デフレ・インフレ)	
	3	数的推理演習	21	数的処理応用(人口と労働/地価と不動産)	
	4	判断推理復習と応用①	22	数的処理応用(経済主体:企業、家計、政府/経済体制)	
	5	判断推理復習と応用②	23	銀行の役割/信用/金利/ローンと複利計算/国債	
	6	判断推理演習	24	数的処理応用(消費と投資:投機と投資の違い)	
	7	空間把握復習と応用①	25	数的処理応用(会社とは/企業経営/原価率/売上と利益)	
	8	空間把握復習と応用②	26	数的処理応用(営業活動とマーケティング/外部資本効果(借金・負債)のメリット・デメリット)	
	9	空間把握演習	27	数的処理応用(財務諸表とは/BSとPLの構造と関係)	
	10	資料解釈復習と応用①	28	数的処理応用(複式簿記による記帳)	
	11	資料解釈復習と応用②	29	数的処理応用(有名企業の財務諸表を読む①)	
	12	資料解釈演習	30	数的処理応用(有名企業の財務諸表を読む②)	
	13	数的処理過去問演習①	31	数的処理応用(有名企業の財務諸表を読む③)	
	14	数的処理過去問演習②	32	数的処理応用(有名企業の財務諸表を読む④)	
	15	数的処理過去問演習③	33	数的処理応用(有名企業の財務諸表を読む⑤)	
	16	数的処理過去問演習④	34	数的処理応用(有名企業の財務諸表を読む⑥)	
	17	数的処理過去問演習⑤	35	後期期末テスト	
18	これまでの直前総復習/前期期末テスト	36	数的処理応用(財務諸表分析/会社の評価:良い会社とは何だろうか)		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	成績評価	出席率80%以上
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	20%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>15% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>5%				
講師プロフィール	担当教員の専門は応用数学である。現在も、統計学などのデータ分析、最適化、数理ファイナンスなどの数学を、実務的に用いた仕事に従事している。社会に出てから使えることを主眼に置きつつ、応用数学の面白さも伝えていきたい。				

## シラバス

科目名	文章表現Ⅱb		担当者名	堀切 昌美		
学 科	公務員科		授業方法	講義		
認定単位	4単位	開講期	必選	授業時間数	72時間	
開講学年	2学年	必・選				
授業目的	公務員論文試験に合格する力を養うとともに、社会に出るにあたって必要な文章力を身に付ける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	設定時間内に指定された文字数で、テーマに適した文章を書けるようにする。 公務員としてモラルのある文章が書けるようにする。					
授業概要	公務員採用試験の一次通過に必須である作文力を培う。合格のラインに到達するまで書き直し、自身の推敲力も上げていく。 公務員試験後は、様々なタイプの文書処理能力を身に付けることを目指し、演習していく。					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容		
	1	公務員試験 論作文出題傾向	19	社会事情の理解		
	2	個人の課題の確認と問題意識の向上	20	社会の課題と改善		
	3	経験作文の書き方	21	少子高齢化・人口減少問題と書き方		
	4	経験作文 題材ポイントとエピソードの書き方	22	情報化社会、デジタルの活用		
	5	エピソード紹介と公務員の活かし方	23	これからの時代に求められる公務員の役割		
	6	内容とバランス 展開チェック	24	ここまでのふりかえり 解説 総評		
	7	効果的な表現	25	意見提示・効果的な話し合い		
	8	意見の核の設定	26	自分の思いを表現する方法		
	9	経験作文 テーマ別 まとめ	27	人前で発表する 実践		
	10	チームワークの重要性	28	効果的な話し合い マナーとコンセンサス		
	11	コミュニケーションの重要性	29	レポートの書き方		
	12	信頼関係を築くとは・良好な人間関係づくり	30	手紙の形式、書き方を踏まえて書く		
	13	ニュースの捉え方・意見の書き方	31	文章(新聞記事・雑誌)を読んで要約する		
	14	理想の公務員像	32	文章(新聞記事・雑誌)を読んで感想意見を提示する		
	15	求められる公務員像とは	33	好きな映画や音楽、映画など、お勧めする内容についての説明文と、 紹介文それぞれの違いに気を付けて、表現を工夫する。		
	16	職種別 職務について 内容の確認 答案構成	34	語彙力 説明力		
	17	前期試験 解説 答案総評	35	文章からキーワードあてゲーム		
18	新聞記事より問題提起する	36	専門学校生活総括を振り返って			
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	個別に添削を繰り返し、学生の文章力に合わせたテーマを設定し依託の復習も併せて指導していく。 100-90点S, 89-80点がA, 79-70点がB, 69-60点がC, 59点以下は不合格		
	学習態度・出席率	20%				
	レポート	20%	成績評価			
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>0%					
講師プロフィール	私立高校国語教諭、公立小学校、養護学校を経て、日本語教師、民間企業に転身したのち教育界に戻るなど、様々な経験を持つ。当校では15年以上教鞭をとりながら、現在は大学非常勤講師、専門学校講師、通信制高校にも勤務し、相乗効果を活かして学生のこれからを指導・応援している。					

## シラバス

科目名	数学Ⅱd		担当者名	仲田 まり子	
学 科	公務員科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	8単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	144時間
授業目的	高校数学の学び直しを通して、公務員試験合格に必要な論理的な思考ができるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	より実践的な解法テクニックを使いこなせるようになる。				
授業概要	公務員試験に必要とされる数学を理解する。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	式と計算、式の展開	19	加法定理①	
	2	複雑な式の因数分解①	20	加法定理②	
	3	複雑な式の因数分解②	21	指数関数①	
	4	整式の割り算	22	指数関数②	
	5	分数式①	23	指数関数③	
	6	分数式②	24	対数関数①	
	7	複素数と方程式	25	対数関数②	
	8	2次方程式の解と判別式	26	対数関数③	
	9	解と係数の関係①	27	微分①	
	10	解と係数の関係②	28	微分②	
	11	解と係数の関係③	29	微分③	
	12	剰余の定理と因数定理①	30	積分①	
	13	剰余の定理と因数定理②	31	積分②	
	14	剰余の定理と因数定理③	32	数列の基本	
	15	高次方程式①	33	等差数列	
	16	高次方程式②	34	等比数列	
	17	三角関数①	35	過去問演習①	
18	三角関数②	36	過去問演習②		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	授業時間前後に質問を受け付ける。	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S:90～100点 A:80～89点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	担当教員は、専門学校において数学や心理学で十分な教育経験を有している。				

## シラバス

科目名	英語Ⅱb		担当者名	高野 美智子	
学 科	公務員科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	公務員試験の一次試験突破を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	英検準2級レベルの英語力を身につける。				
授業概要	前期:英文法(G)と英文読解(R)の2本立てで学習する。 後期:英会話のlistening → dictation → 音読 *航空学科と合同授業				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス G: 到達度テスト R: 英語長文1	19	後期ガイダンス、英語で自己紹介等	
	2	G: 複合関係代名詞 R: 英語長文2	20	Lesson 1: 空港での入国審査	
	3	G: 間接疑問文と否定疑問文 R: 英語長文3	21	Lesson 2: 税関での手続き	
	4	G: 付加疑問文とその他の疑問文 R: 英語長文4	22	Lesson 3: 空港に迎えにきてもらう/ 単語テスト	
	5	G: 仮定法 R: 英語長文5	23	Lesson 4: 家族を紹介	
	6	G: 使役動詞と知覚動詞 R: 英語長文6	24	Lesson 5: 日本からのお土産	
	7	G: 分詞構文 R: 英語長文7	25	Lesson 6: 家の中を案内してもらう	
	8	公務員試験 過去問演習 1	26	Lesson 7: ホストファミリーの家のルール/ 単語テスト	
	9	公務員試験 過去問演習 2	27	Lesson 8: ホストファミリーと食事	
	10	公務員試験 過去問演習 3	28	Lesson 9: 食事の後片付け	
	11	公務員試験 過去問演習 4	29	Lesson 10: 洗濯機や掃除機の使い方	
	12	公務員試験 過去問演習 5	30	Lesson 11: 浴室の使い方 / 単語テスト	
	13	公務員試験 過去問演習 6	31	Lesson 12: テレビを見る	
	14	公務員試験対策 弱点補強	32	Lesson 13: 電話をかける	
	15	公務員試験対策 弱点補強	33	Lesson 14: 寝る前のあいさつ	
	16	公務員試験対策 弱点補強	34	Lesson 15: 朝のあいさつ / 単語テスト	
	17	中間テスト対策	35	Lesson 16: 学校への行き方	
	18	中間テスト	36	期末テスト	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	one on one	
	学習態度・出席率				
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S=100~90点、A=89~80点、B=79~70点、C=69~60点、D=59点以下で不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は、全日本空輸(株)でCA、外資系企業A社(etail)においてexecutive secretary並びに人事採用担当、また外資系企業B社(insurance)では法務部に所属し、弁護士アシスタントの経験をもつ。英語は、カナダ、アメリカで3年間過ごした経験と仕事での実務経験から身につけたスキルである。(TOEIC 970)				

## シラバス

科目名	自己探求Ⅱ		担当者名	加賀 俊哉	
学 科	公務員科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	卒後ビジョンを描き、磨き、叶えるために、基本的なビジネススキル・グローバル感覚を身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	具体的な卒後ビジョンを描き、それに向かってテクノスのアセットを十分に活用している。社会人基礎力をつけて、就職後も卒後ビジョンを磨く姿勢を継続させる				
授業概要	就職指導、グループワークを通して、実社会での常識や振る舞いや態度などを体得する				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	テクノス祭準備	
	2	就職活動について+個人面談	20	テクノス祭準備	
	3	就職活動について+個人面談	21	テクノス祭準備	
	4	就職活動について+個人面談	22	テクノス祭準備	
	5	目指す業界の未来を考える&個別面談	23	テクノス祭準備	
	6	目指す業界の未来を考える&個別面談	24	テクノス祭準備	
	7	社会人基礎力①前に踏み出す力(グループワーク)&個人面談	25	テクノス祭準備	
	8	社会人基礎力②考え抜く力(グループワーク)&個人面談	26	就職後の目標設定①	
	9	社会人基礎力③チームで働く力(グループワーク)&個人面談	27	就職後の目標設定②	
	10	一般常識ワーク&個人面談	28	コミュニケーションスキル①聴く力	
	11	一般常識ワーク&個人面談	29	コミュニケーションスキル②理解する力	
	12	一般常識ワーク&個人面談	30	コミュニケーションスキル③伝える力	
	13	一般常識ワーク&個人面談	31	グループワーク	
	14	一般常識ワーク&個人面談	32	グループワーク	
	15	一般常識ワーク&個人面談	33	社会人心構え	
	16	一般常識ワーク&個人面談	34	社会人心構え	
	17	一般常識ワーク&個人面談	35	テクノス展準備	
	18	前期 振り返り	36	テクノス展準備	
成績割合	テスト		学習FB方法	授業内または面談にてFB	
	学習態度・出席率	100%			
	レポート		成績評価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	ビジネス能力検定対策Ⅱb		担当者名	堀切 昌美	
学 科	公務員科		授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期	必選	授業時間数	72時間
開講学年	2学年	必・選			
授業目的	社会人として身につけるべきマナーを学び、就職活動に活かす。仕事の仕組み、組織人としての意識を高める。資格試験対策を実施し合格に繋げる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	専修学校教育振興会主催『ビジネス能力検定(ジョブパス)』3級・2級の合格を目指す。				
授業概要	テキスト『実教 要点と演習 ビジネス能力検定 3級2023年度』『実教 要点と演習 ビジネス能力検定2級 2023年度』を使用する。自分の知らないルールやマナーを学び、社会人と同じ立ち居振る舞いができるよう実践する。単に資格取得を目標とするだけでなく、本当のビジネスマナーを学ぶ意識を持つことが必要である。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	科目設定の目的・授業進行・資格試験内容説明	19	お客様第一主義	
	2	自身のキャリアデザインを考える。働き方の多様化と現状を知る	20	肯定表現・敬語・クレーム対応	
	3	組織人としての8つの意識	21	接客・営業の進め方 会議運営	
	4	報告・連絡・相談のポイントと注意	22	チームワーク 2級ケースの問題対応	
	5	議事録の意義、会議の進め方	23	2級対策時事用語・IT時代の仕事の進め方	
	6	来客対応・訪問マナー	24	ロジックツリー・マトリクス・MECE 論理的思考と分析について	
	7	過去問に沿って、ここまでの復習	25	データの読み方・まとめ方、企画書とその他の文書	
	8	資格試験直前対策 ビジネス用語確認	26	日本の経済変化、為替、時事用語	
	9	ビジョンとドメイン、コンプライアンス、CSRIについて	27	契約、社則、労働基準法、労働者の権利	
	10	働き方の変化、DX	28	2級合格を踏まえての過去問抜粋	
	11	社内文書と社外文書の基本	29	会社数字の読み方	
	12	情報収集の方法と活かし方	30	自身の強みと活かし方、社会への貢献	
	13	3C分析とSWOT分析	31	履歴書の書き方・作成	
	14	株式会社について 売り上げ・粗利	32	エントリーシートの書き方、採用者の視点・作成	
	15	給料明細の見方・様々な社会保険	33	自己紹介のしかた(面接を踏まえて)、自己紹介文の作成	
	16	キャリアとは何か、自分なりに考える。キャリアアンカーの見極め	34	総まとめ	
	17	基礎・常識問題、新聞記事、ケースの問題、資料解釈	35	総評・働くということ	
	18	試験の総評と、3級合格を目指しての総まとめ、過去問対策	36	面接対策	
成績割合	テスト	70	学習FB方法	随時小テストを実施する。過去問の理解が十分でない場合、個別対応を行う。	
	学習態度・出席率	15			
	レポート	15	成績評価	100-90点がS、89-80点がA、79-70点がB、69-60点がC、59点以下は不合格とする。 受検した資格試験結果	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て、民間企業に転職。営業部配属中に月間一千万円を売り上げ、女性マネージャーに昇格。フランス・ルーブル美術館で行われたキモノショーの裏方経験をする。その後、企画部人事部の仕事に携わるうち、自身の培った何らかを若い世代に伝え、貢献したいとの思いから教育界に復帰。現在は、大学・専門学校・通信制高校において、教師となり 企業業務委託講師としても活躍中。当校では、15年以上指導に当たっている。				

## シラバス

科目名	未来構想ⅡA		担当者名	加賀 俊哉		
学 科	公務員科		授業方法	行事		
認定単位	2単位	開講期	選択	授業時間数	36時間	
開講学年	2学年	必・選				
授業目的	学校行事等に積極的に参加し、自ら企画、提案し、行動する習慣を培う					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	すべての学校行事に積極的に参加する					
授業概要	学校行事への参加状況、関わり方、積極性、企画、提案、実行力を評価する					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容		
	1	前期のすべての学校行事	19	後期のすべての学校行事		
	2	前期のすべての学校行事	20	後期のすべての学校行事		
	3	前期のすべての学校行事	21	後期のすべての学校行事		
	4	前期のすべての学校行事	22	後期のすべての学校行事		
	5	前期のすべての学校行事	23	後期のすべての学校行事		
	6	前期のすべての学校行事	24	後期のすべての学校行事		
	7	前期のすべての学校行事	25	後期のすべての学校行事		
	8	前期のすべての学校行事	26	後期のすべての学校行事		
	9	前期のすべての学校行事	27	後期のすべての学校行事		
	10	前期のすべての学校行事	28	後期のすべての学校行事		
	11	前期のすべての学校行事	29	後期のすべての学校行事		
	12	前期のすべての学校行事	30	後期のすべての学校行事		
	13	前期のすべての学校行事	31	後期のすべての学校行事		
	14	前期のすべての学校行事	32	後期のすべての学校行事		
	15	前期のすべての学校行事	33			
	16	前期のすべての学校行事	34			
	17	後期のすべての学校行事	35			
	18	後期のすべての学校行事	36			
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	各期末評価を開示する		
	学習態度・出席率	100%				
	レポート	0%	成績評価	出席率、参加姿勢等により総合的に評価する		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>10%					
講師プロフィール						

## シラバス

科目名	キャリア開発 I		担当者名	キャリアセンター 佐藤・沼田	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 1年生	開講期 必・選	通年 必修選択	授業時間数	36コマ
授業目的	卒業VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒業Visionを叶えるための内定を得る。				
授業概要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション	
	2	キャリアについて考える I	20	卒業visionを磨く	
	3	キャリアについて考える II	21	就活の軸を考える	
	4	社会探究の重要性について考える	22	社会人としての心構え	
	5	自己探究 I	23	SDGsとこれからの働き方について考える	
	6	自己探究 II	24	就職活動について考える	
	7	グローバルとキャリアについて I	25	就活と生成AIツールの活用について I	
	8	グローバルとキャリアについて II	26	就活と生成AIツールの活用について II	
	9	インターンシップについて考える I	27	特別講座に向けて準備	
	10	インターンシップについて考える II	28	履歴書の書き方について	
	11	WEBテスト(自己探究)	29	社会人マナー復習	
	12	卒業Visionを振り返る	30	自己プロデュースをしてみよう	
	13	インターンシップ準備	31	プレゼンテーションをしてみよう	
	14	特別講座と社会探究について	32	グループディスカッション練習	
	15	インターンシップ振り返り	33	グループ面接練習	
	16	グループディスカッション練習	34	卒業VISIONの確認	
	17	自己目標の振り返り	35	自己目標の振り返り	
	18	上期の振り返り・下期目標設定	36	下期・1年の振り返り	
成績割合	卒業ビジョンの提出		70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB
	確認テスト(Forms)		30%		
	合計		100%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
P/R/A/G割合	■P<<課題解決型学習>> 40% ■R<<実働実践型学習>> 20% ■A<<主体的参加型学習>> 30% ■G<<海外体感型学習>> 10%				
講師プロフィール					



## シラバス

科目名	キャリア開発 I		担当者名	キャリアセンター 宮鍋・井上	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 1年生	開講期 必・選	通年 必修選択	授業時間数	36コマ
授業目的	卒後ビジョンを描く(磨く)ための知識の醸成と経験の蓄積				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ありたい姿の確立と達成するための経験・スキルを身につける				
授業概要	インターンシップなど社会探究に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身につける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	オリエンテーション②	
	2	自分の理想の人生を考える①	20	学生と社会人の違い	
	3	自分の理想の人生を考える②	21	学び探究の重要性①	
	4	自己探究の重要性①	22	学び探究の重要性②	
	5	自己探究の重要性②	23	テクノス祭の活用①	
	6	社会探究の重要性①	24	テクノス祭の活用②	
	7	社会探究の重要性②	25	大学コースの価値②	
	8	グローバルな働き方①	26	インターン対策③	
	9	グローバルな働き方②	27	インターン対策④	
	10	大学コースの価値①	28	テーマ別グループワーク①	
	11	WEBテスト	29	テーマ別グループワーク②	
	12	インターン対策①	30	テーマ別グループワーク③	
	13	インターン対策②	31	テーマ別グループワーク④	
	14	卒後ビジョンとキャリア(就職)①	32	テーマ別グループワーク⑤	
	15	卒後ビジョンとキャリア(就職)②	33	卒後VISIONブラッシュアップ②	
	16	卒後VISIONブラッシュアップ①	34	下期・1年の振り返り	
	17	上期の振り返り・下期目標設定	35	具現抽象トレーニング②	
18	具現抽象トレーニング①	36	具現抽象トレーニング③		
成績割合	卒後ビジョンの提出		70%	学習FB方法	アンケート、面接練習、 履歴書作成にてFB
	確認テスト(Forms)		30%		
	合計		100%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79 C60~69点 D59点以下は不合格
P/R/A/G割合	■P<<課題解決型学習>> 40% ■R<<実働実践型学習>> 20% ■A<<主体的参加型学習>> 30% ■G<<海外体感型学習>> 10%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	一般常識 I		担当者名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	36時間
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<p>“数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会 社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。”</p>				
授業概要	<p>“数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語 漢字の読み書きを基本として、慣用語、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。”</p>				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	「数学」オリエンテーション一般常識「国語」「社会」オリエンテーション	19	速さの文章問題(2) 日本文学	
	2	数の計算漢字一字の読み	20	規則性などの文章問題(1) 世界文学	
	3	式の計算二字熟語の読み	21	規則性などの文章問題(2) 国語 成績判定試験(2)	
	4	数と量の文章問題(1) 慣用語の読み	22	場合の数(1) 民主主義	
	5	因数分解(1) 常用漢字外の読み	23	場合の数(2) 日本国憲法	
	6	因数分解(2) 漢字一字の書き取り	24	確率(1) 国際社会	
	7	約数と倍数二字熟語の書き取り	25	確率(2) 資本主義経済・企業	
	8	平方根の計算(1) 同訓異字の書き取り	26	数学 後期成績判定テスト(1) 国民経済・日本の経済	
	9	平方根の計算(2) 同音異義語の書き取り(1)	27	数と式の計算 復習テスト貨幣・金融・財政	
	10	数学 前期成績判定テスト(1)同音異義語の書き取り(2)	28	方程式と不等式 復習テスト(1) 社会 成績判定試験(1)	
	11	1次方程式、連立方程式国語 成績判定試験(1)	29	方程式と不等式 復習テスト(2) 日本史(1)	
	12	2次方程式対義語・類義語の書き取り	30	総合文章題 復習テスト(1) 日本史(2)	
	13	不等式似形異字の書き取り	31	総合文章題 復習テスト(2) 世界史	
	14	数と量の文章問題(2) 書き誤りやすい漢字	32	関数とグラフ 復習テスト日本地理	
	15	割合の文章問題(1) 同音異音・同音異訓の読み書き	33	場合の数と確率(1) 世界地理	
	16	割合の文章問題(2) 四字熟語の読み書きと意味	34	場合の数と確率(2) 思想・社会・文化	
	17	数学 前期成績判定テスト(2) 故事成語・諺・慣用語・金言の完成と意味	35	数学 後期成績判定テスト(2) 社会 成績判定試験(2)	
18	速さの文章問題(1) 語句の読みと意味	36	まとめ		
成績割合	テスト		学習FB方法	“数学 前期・後期 成績表送付 国語・社会 前期・後期 成績表送付”	
	学習態度・出席率				
	レポート		成績評価	S:90-100, A:80-89, B:70-79, C:60-69 ,D:0-59	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。				

## シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	煤村 麻里子	
学科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	産業能率大学通信課程の基礎・専門科目(全7科目)の単位取得に必要な学習支援を行う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	産能大のレポート・試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、レポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 2024年度科目 「社会人の常識とマナー」「コミュニケーション論」「ビジネス文書&メールの書き方」「情報分析力を鍛える」「考える力をつける」「企画力を強化する」「自由が丘とブランディング」				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①産業能率大学通信制とレポート&試験	19	情報分析力を鍛える①	
	2	オリエンテーション②レポート作成のポイント①	20	情報分析力を鍛える②	
	3	オリエンテーション③年間の取組計画	21	情報分析力を鍛える③	
	4	ビジネス文書&メールの書き方①	22	考える力をつける①	
	5	ビジネス文書&メールの書き方②	23	考える力をつける②	
	6	ビジネス文書&メールの書き方③	24	考える力をつける③	
	7	社会人の常識とマナー①	25	企画力を強化する①	
	8	社会人の常識とマナー②	26	企画力を強化する②	
	9	社会人の常識とマナー③	27	企画力を強化する③	
	10	コミュニケーション論①	28	自由が丘とブランディング①	
	11	コミュニケーション論②	29	自由が丘とブランディング②	
	12	コミュニケーション論③	30	自由が丘とブランディング③	
	13	評論読解と要約のポイント①	31	レポート作成のポイント③	
	14	評論読解と要約のポイント②	32	評論読解と要約のポイント③	
	15	レポート作成のポイント②	33	論理と文章構成②	
	16	論理と文章構成①	34	後期内容振り返り	
	17	前期内容振り返り	35	年間内容振り返り	
	18	後期レポート作成計画	36	まとめ	
成績割合	テスト	なし	学習FB方法	前期後期成績発表	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%	成績評価	出席率80%以上 S90~100 A80~89 B70~79 C60~69 D59以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	吉田 緑	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	本科目は中央大学法学部通信教育課程の編入を目指す学生等に課せられたレポート課題対策および法律学習の支援を目的とする。対象科目は憲法、民法(債権総論、債権各論)、刑法(総論、各論)である。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	①レポートを提出し、実際に合格させること ②法律学習に限らず「自分のことば」を用いて文章で説明できるようにすることを目標とする。				
授業概要	①法律を学ぶにあたって必要な思考方法、②教科書を含む文献や裁判例の読み方、③リサーチ方法、④レポートを書く際の作法、⑤レポートの題意の読み解き方等を学ぶ。 スクーリングや試験に合わせて授業内容が変わる場合もある。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	刑法(各論):第2課題	
	2	オリエンテーション	20	刑法(各論):第2課題	
	3	法律学習の基礎:①条文の読み方②教科書を含む基本書の読み方③題意を把握する	21	民法(債権総論):第1課題	
	4	法律学習の基礎:①条文の読み方②教科書を含む基本書の読み方③題意を把握する	22	民法(債権総論):第1課題	
	5	レポートの書き方①	23	民法(債権総論):第2課題	
	6	レポートの書き方②	24	民法(債権総論):第2課題	
	7	課題の題意把握	25	民法(債権各論):第1課題	
	8	課題の題意把握	26	民法(債権各論):第1課題	
	9	憲法:第1課題	27	民法(債権各論):第2課題	
	10	憲法:第1課題	28	民法(債権各論):第2課題	
	11	憲法:第2課題	29	憲法(残りの課題)	
	12	憲法:第2課題	30	刑法(残りの課題)	
	13	刑法(総論):第1課題	31	刑法(残りの課題)	
	14	刑法(総論):第1課題	32	民法(残りの課題)	
	15	刑法(総論):第2課題	33	民法(残りの課題)	
	16	刑法(総論):第2課題	34	結果報告	
	17	刑法(各論):第1課題	35	まとめ	
18	刑法(各論):第1課題	36	まとめ		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	随時指導する。前期・後期成績表送付。	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点、A80~89点、B70~79点、C60~69点、 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	他大学他学部より中央大学法学部通信教育課程に2年次編入し、同課程卒業。中央大学通信教育部インストラクター。専門は刑事政策・犯罪学。他専門学校・大学等でも講師(憲法、刑事政策、犯罪学等)を務める。元インターネットニュースメディア記者でフリーランスライターでもある。				

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	高木 佳子、原 祥	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	日大英文科で二年次に修得すべき科目である、アメリカ文学史とイギリス文学史(18世紀以降)の知識の習得と理解を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	具体的には以下の科目の単位取得を目指す。 ・イギリス文学史Ⅱ(4単位) ・アメリカ文学史(4単位)				
授業概要	基本的には毎回配布するプリントを用いて授業を行う。ただし指定教科書である『イギリス文学史Ⅱ』(日本大学通信教育学部)、『アメリカ小説入門』(研究社)に加え、適宜副次資料を配り、理解の助けとする。 また、同時進行で言及した作家の短編作を読み、内容理解と英文読解にも努める。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	スケジュール説明:レポート期限、テスト期限 ・イギリス文学史(ロマン主義):歴史的概要1(清教徒革命の影響)	19	論文を読む。Theme, 先行研究、Thesis statementに着目する。 『緋文字』	
	2	・イギリス文学史(ロマン主義):歴史的概要2(フランス革命の影響) ・トリコロール(自由・平等・博愛)	20	アメリカ文学史⑤～⑧までの小テスト	
	3	・イギリス文学史①(ロマン主義・詩)ワーズワース、コールリッジ	21	アメリカ文学史⑨ ポストモダンの時代 i ヘンリー・ミラー、サルンジャー、ビートジェネレーション、アーサー・ミラーなど	
	4	・イギリス文学史②(ロマン主義・詩)バイロン、シェリ、キーツ	22	アメリカ文学史⑩ ポストモダンの時代 ii カポーティ、テネシー・ウィリアムズ、ヴォネガット、アップダイク、アーヴィングなど	
	5	イギリス文学史③(ロマン主義・小説)スコット、オースティン アメリカ文学史:歴史的概要	23	アメリカ文学史⑪ マイノリティ文学、公民権運動 ボールドウィン、アリス・ウォーカー、トニ・モリスン、ナボコフ、ピンチオンなど	
	6	アメリカ文学史① 植民地時代 (ビュリタニズム) アン・ブラッドストリート、エドワーズ、ベンジャミン・フランクリンなど。	24	アメリカ文学史⑨～⑪までの小テスト	
	7	アメリカ文学史② 独立期から西漸運動 (ロマン主義の時代 i) ブラウン、アービング、クーバー、エドガー・アラン・ポーなど。	25	イギリス文学史④ ヴィクトリア朝時代 i …ディケンズ、サッカレー、ブロンテ姉妹	
	8	アメリカ文学史③ 独立期から南北戦争まで (ロマン主義時代 ii) エマソン、メルヴィル、ホーソン、ホイットマン、ディッケンソンなど	26	イギリス文学史⑤ ヴィクトリア時代 ii …エリオット、メレディス、ギヤスケルら	
	9	アメリカ文学史④ 南北戦争から第一次大戦まで。(リアリズム小説) オールcott、マークトウェイン、ハウエルズ、ジェイムズなど	27	イギリス文学史⑥ ヴィクトリア時代 iii …テニスン、ブラウニングなど詩人連	
	10	書籍資料を参考にして、Adventures of Huckleberry Finn の特徴(文体・内容・時代背景)を考えてみる。	28	イギリス文学史⑦ 第一次世界大戦とその周辺 i …ハーディ、ヘンリー・ジェイムズ、コンラッド、キプリングなど多数	
	11	イギリス文学史①～③ アメリカ文学史①～④までの小テスト	29	イギリス文学史⑧ 第一次世界大戦とその周辺 ii …作家:H.G.ウェルズ、ステイプソン、コナン・ドイル。詩人:ホプキンス、イェイツ	
	12	アメリカ文学史⑤ 第一次大戦と海外膨張政策 (自然主義小説) リス、クレイン、ドライサー、ジャック・ロンドンなど	30	イギリス文学史⑨ 第一次世界大戦とその周辺 iii …小説家:オスカー・ワイルド、モーム、フォスター。劇作家:バーナード・شوなど	
	13	ジャック・ロンドン To Build a Fire の読解	31	イギリス文学史⑩ 第二次世界大戦とその周辺 …戦争と歴史。作家:ヴァージニア・ウルフ、ジェイムズ・ジョイスなど	
	14	アメリカ文学史⑥ モダニズムの時代…狂騒の20年代 i キャザー、エズラ・パウンド、ウィリアム・ウィリアムズ、ヘミングウェイなど。	32	イギリス文学史⑪ 第二次世界大戦から現代まで…「ゆりかごから墓場まで」 作家:ロレンス、オーウェル、グリーン、ゴールディングなど	
	15	アメリカ文学史⑦ モダニズムの時代…狂騒の20年代 ii フォークナー、フロスト、バーンズ、ハーストン、ラングストン・ヒューズなど。	33	文学研究の「テーマ」について① "人種(Race)"	
	16	アメリカ文学史⑧ モダニズムの時代…ジャズ・エイジ iii フィッツジェラルド、ハメット、スタインベック、リチャード・ライトなど。	34	文学研究の「テーマ」について② "社会階級(Social Class)"	
	17	論文を読む。Theme, 先行研究、Thesis statementに着目する。 『ハックルベリー・フィンの冒険』	35	文学研究の「テーマ」について③ "性差(Gender)"	
18	論文を読む。Theme, 先行研究、Thesis statementに着目する。 『ロミオとジュリエット』	36	文学研究の「テーマ」について④ "セクシュアリティ(Sexuality)"		
成績割合	テスト		学習FB方法	レポート課題添削、日大からのレポート課題講評、試験結果等	
	学習態度・出席率	50パーセント			
	レポート	50パーセント	成績評価	科目習得試験取り組み状況、学習態度・出席状況	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<<実働実践型学習>>10 A<<主体的参加型学習>>30 G<<海外体感型学習>>30				
講師プロフィール	東京学芸大学・教育学研究科英語教育(英米文学)課程の修士号を取得。 都立の定時制高校16校で英語講師を14年務めてきた。				

## シラバス

科目名	英語基礎 I		担当者名	鈴木 良		
学 科			授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	大学コース日大国文学専攻の学生が、卒業に必要な英語科目8単位のうち、2単位を修得できる英語力を身につける。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1. 日大通信教育「英語基礎」2単位のレポート課題に合格する。 2. 日大通信教育「英語基礎」2単位の科目修得試験に合格する。					
授業概要	教科書の理解、小テスト、定期試験、レポート課題作成、科目修得試験対策					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容		
	1	Unit 1	19	Unit 8		
	2	Unit 1	20	Unit 8		
	3	Unit 1	21	Unit 8 小テスト、Unit 10		
	4	Unit 1	22	Unit 10		
	5	Unit 1	23	Unit 10		
	6	Unit 4	24	Unit 10		
	7	Unit 4	25	Unit 10 小テスト、Unit 12		
	8	Unit 1 小テスト、Unit 4	26	Unit 12		
	9	Unit 4	27	Unit 12		
	10	Unit 4	28	Unit 12		
	11	Unit 4 小テスト、Unit 6	29	Unit 12 小テスト、Unit 13		
	12	Unit 6、レポート作成	30	Unit 13		
	13	Unit 6、レポート作成	31	Unit 13		
	14	Unit 6、レポート作成	32	Unit 13		
	15	Unit 6	33	Unit 13 小テスト		
	16	前期期末試験	34	まとめ		
	17	Unit 8	35	後期期末試験		
18	Unit 8	36	試験返却			
成績割合	テスト	45%	学習FB方法	口頭		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート	25%	成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点、レポート提出		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>100%					
講師プロフィール	英文学、英語学を専門とし、日大通信教育部にて中学校、高等学校教員免許(英語)を取得					

## シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	高木 佳子	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	国文学の専門知識の習得とともに、各科目の単位修得におけるレポート作成の技術の習得も目指していく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	古代から近代に至る日本文学の各ジャンルにおける専門的知識と課題を把握し、日本大学の各科目試験の単位修得に必要な知識を身につけていく。				
授業概要	日本大学における「国文学基礎講義」、「国文学概論」、「国文学講義(上代)」の3教科の単位修得に必要な、各科目ごとの2つのレポート提出について、提出期限を把握し、科目修得試験に向けて、計画的に進めていく。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	授業オリエンテーション 1年次履修科目について	19	連歌の形式	
	2	授業オリエンテーション 履修科目のレポート課題提出について	20	俳諧の歴史	
	3	授業オリエンテーション 履修科目の試験、および過去問について	21	芭蕉の文学	
	4	国文学科目概要・講義概説	22	謡曲の種類	
	5	「国文学基礎講義」レポート課題概説 レポート作成に向けて	23	「国文学講義」I(上代) 課題1 レポート作成に向けて	
	6	『日本古典文学』第1章 古代(一記紀と風土記を読む)	24	『国文学講義』I(上代) レポート課題1の作成に向けての、『万葉集』「宴席歌」について。	
	7	「国文学基礎講義」課題1 レポート作成	25	「国文学講義」I(上代) 課題1 レポート作成 フェイス以外の『万葉集』の「宴席歌」の選定	
	8	『日本古典文学』第7章 近世(一近松と西鶴の文学を読む)	26	『万葉集』の「宴席歌」について	
	9	「国文学基礎講義」課題2 レポート作成に向けて	27	「国文学講義」I(上代) 課題2 レポート作成に向けて	
	10	「国文学基礎講義」課題2 レポート作成	28	『万葉集』「宴席歌」から 田辺福麻呂の歌 巻18(4032~4035)	
	11	「国文学概論」レポート作成に向けて	29	『万葉集』「宴席歌」から 橘諸兄の歌 巻17(3926左)	
	12	『国文学概論』(第二分冊) 物語文学	30	『万葉集』「宴席歌」 藤原朝臣仲麻呂の歌から 巻20(4242・4487)	
	13	「国文学概論」課題1 レポート作成	31	『万葉集』「宴席歌」から 巻17(3943~3955)の宴席歌群について	
	14	『国文学概論』(第四分冊) 近代文学	32	『万葉集』「宴席歌」から 大伴坂上郎女の歌 巻4(585・651・652)	
	15	「国文学概論」課題2 レポート作成	33	『万葉集』の宴席を考える—梅花の宴を通して	
	16	『古今和歌集』 国風暗黒時代・「真名序」・「二聖」・「六歌仙」	34	『国文学講義』I(上代) レポート課題の作成・提出に向けて	
	17	鴨長明と兼好 『方丈記』・『徒然草』	35	授業まとめ/振り返り	
	18	『新古今和歌集』 後鳥羽院と藤原定家・『新古今和歌集』の編纂・新古今歌風	36	授業まとめ/振り返り	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 答案返却	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点、A80~89点、B70~79点、C60~69点、 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体験型学習>>10%				
講師プロフィール	元昭和女子大学准教授(日本古典文学 和歌文学)				

## シラバス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担当者名	担任	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 2年生	開講期	通年 必修選択	授業時間数	36コマ
授業目的	卒業VISIONに近づく一歩目の就職を成功させる。社会に出た後のキャリアを形成する知識の醸成。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒業Visionを叶えるための知識・経験を積む。				
授業概要	社会生活に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイやフィールドワークなどを通じ、体得する。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション・就活状況の確認	19	後期の講義内容に関して&個人面談	
	2	内定後の過ごし方&個人面談①	20	挨拶・マナー①報連相・PDCAサイクル	
	3	一般常識ワーク&個人面談②	21	一般常識ワーク&個人面談①	
	4	ビジネス書読書&個人面談③	22	一般常識ワーク&個人面談②	
	5	【自習】目指す業界の未来を考える&個別面談	23	ビジネス書読書&個人面談③	
	6	【自習】企業研究(国内外)&個人面談	24	トークセッション(OBOGを招いて:社会人予備軍対象)	
	7	目指す業界の未来を発表する	25	前期で上がった課題に関するワーク	
	8	【自習】第二志望の業界を調べる&個人面談	26	就職後の目標設定①	
	9	【自習】夢の根っここの共通職種・業界を考える&個人面談	27	就職後の目標設定②	
	10	社会人基礎力①前に踏み出す力(グループワーク)&個人面談	28	コミュニケーションスキル①聴く力	
	11	社会人基礎力②考え抜く力(グループワーク)&個人面談	29	コミュニケーションスキル②理解する力	
	12	社会人基礎力③チームで働く力(グループワーク)&個人面談	30	コミュニケーションスキル③伝える力	
	13	海外で働くことをイメージ	31	個人面談④ 卒業ビジョンを基に	
	14	一般常識ワーク&個人面談④	32	個人面談⑤ 卒業ビジョンを基に	
	15	一般常識ワーク&個人面談⑤	33	個人面談⑥ 卒業ビジョンを基に	
	16	前期 振り返りと課題発見	34	確認テスト・まとめ1	
	17	後期の課題解決に向けたGD	35	確認テスト・まとめ2	
18	前期 振り返り	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	卒業ビジョンの提出		70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB
	確認テスト(Forms)		30%		
	合計		100%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
P/R/A/G割合	■P<<課題解決型学習>> 40% ■R<<実働実践型学習>> 20% ■A<<主体的参加型学習>> 30% ■G<<海外体感型学習>> 10%				
講師プロフィール					



## シラバス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担当者名	キャリアセンター 井上・(宮鍋)	
学 科			授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	2 2年生	開講期 必・選	通年 必修選択	授業時間数	36コマ
授業目的	卒後ビジョンを明確化するための知識の醸成と経験を積む。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)を修得し、卒後Visionを磨く。				
授業概要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー、スキルを身に着ける。ロールプレイを通じ、体得する。「選ぶ」「選ばれる」力をつける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション ①アイイスブレイク ②知識アンケート	19	オリエンテーション 前期の振り返り	
	2	職業観の醸成(3名のレング職人)	20	社会人基礎力の確認	
	3	社会探究がなぜ必要か	21	自己探究 モチベーショングラフ 自分の価値観	
	4	大学コースの強み	22	社会人のコミュニケーションとは	
	5	社会探究の方法 ヒント	23	学生が企画する授業①	
	6	インターンシップの目的 期間と時間 活用 選び方 探し方	24	学生が企画する授業②	
	7	インターン対策①履歴書編	25	冬のインターンシップの準備	
	8	グローバルな働き方	26	図書館 感銘を受けた本ワーク	
	9	職業人講話	27	ガクチカを具体的に表現する方法	
	10	インターン対策 ルールマナー編&自己探究	28	自己PR 動画作成	
	11	インターン対策 面接編	29	オンライン面接の練習	
	12	夏のインターン報告会趣旨説明	30	Gディスカッション練習	
	13	インターン計画	31	Gワーク練習	
	14	夏のインターン報告会	32	エントリーシートの書き方	
	15	自己探究 自分から見た強み 社会から見た強み	33	冬のインターン報告会	
	16	先輩に学ぶ	34	自分のありたい姿、磨き直しワーク	
	17	社会探究ワーク	35	自分のありたい姿、磨き直しワーク	
	18	社会探究ワーク	36	自分のありたい姿、磨き直しワーク	
成績割合	卒後ビジョンの提出		70%	学習FB方法	確認アンケート、面接練習、履歴書作成にてFB
	確認テスト(Forms)		30%		
	合計		100%	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
P/R/A/G割合	■P<<課題解決型学習>> 40% ■R<<実働実践型学習>> 20% ■A<<主体的参加型学習>> 30% ■G<<海外体感型学習>> 10%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	一般常識Ⅱ		担当者名	松木 芳文		
学 科			授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	36時間	
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<p>“数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会 社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。”</p>					
授業概要	<p>“数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語 漢字の読み書きを基本として、慣用語、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。”</p>					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション	19	数学 中間テスト1回目	国語 語句の読みと意味	
	2	オリエンテーション	20	数学 中間テスト2回目	国語 日本文学	
	3	オリエンテーション	21	数学 中間テスト2回目	国語 日本文学	
	4	国語 オリエンテーション 数学 百分率・歩合	22	数学 百分率・歩合・速度	国語 成績判定試験	
	5	数学 速度	国語 漢字の読み・諺	23	数学 単位・比例と比例式	社会 民主主義
	6	数学 単位	国語 授業のみ	24	数学 小テスト	社会 日本国憲法
	7	数学 比と比例式	国語 漢字の読み・諺	25	数学 倍数・約数	社会 国際社会
	8	数学 倍数・約数	国語 慣用語・常用漢字外	26	数学 因数分解	社会 資本主義経済・企業
	9	数学 因数分解	国語 漢字一字の書き取り	27	数学 小テスト	社会 国民経済・日本の経済
	10	数学 一次方程式	国語 二字熟語の書き取り	28	数学 一次方程式・連立方程式	社会 貨幣・金融・財政
	11	数学 連立方程式	国語 同訓異字の書き取り	29	数学 二次方程式	社会 日本史(近世・近代・現代)
	12	数学 二次方程式	国語 同音異義語の書き取り	30	数学 小テスト	社会 世界史
	13	数学 図形の面積	国語 同音異義語の書き取り	31	数学 図形の面積	社会 日本地理
	14	数学 図形の体積	国語 対義語・類義語の書き取り	32	数学 図形の体積	社会 世界地理
	15	数学 一次関数	国語 似形異字の書き取り	33	数学 小テスト	社会 思想・社会・文化
	16	数学 二次関数	国語 書き誤りやすい漢字	34	まとめ	
	17	数学 場合の数	国語 同字異音・異訓の読み書き	35	まとめ	
	18	数学 確率	国語 四字熟語の読み書きと意味	36	まとめ	
成績割合	テスト			学習FB方法	成績通知	
	学習態度・出席率					
	レポート			成績評価	S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計		100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール	<p>“数学担当 最終学歴:岩手大学工学部。国内大手及び外資系機械メーカー勤務の後、理数系科目の講師を勤める。 国語・社会担当 最終学歴:慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザー業務の傍ら、英語・国語・社会の講師を勤める。”</p>					

## シラバス

科目名	特別講座2A 大学支援 総合Ⅱ		担当者名	若林 芳勝	
学 科			授業方法	講義	
認定単位	4単位	開講期		授業時間数	72時間
開講学年	2学年	必・選	選択		
授業目的	産業能率大学通信課程の基礎・専門科目(全8科目)の単位取得に必要な学習支援を行う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	産能大のレポート・試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、レポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 2024年度科目 「ビジネス倫理」「人間関係の心理学」「人材マネジメント論入門」「ストリートファッション論」「企業家に学ぶ経営」「地域コミュニティ活動と社会貢献」「リーダーシップ論」「チームマネジメント論」				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション	19	講義	
	2	オリエンテーション	20	講義	
	3	講義	21	講義	
	4	講義	22	講義	
	5	講義	23	講義	
	6	講義	24	講義	
	7	講義	25	講義	
	8	講義	26	講義	
	9	講義	27	講義	
	10	講義	28	講義	
	11	講義	29	講義	
	12	講義	30	講義	
	13	講義	31	講義	
	14	講義	32	講義	
	15	講義	33	講義	
	16	講義	34	講義	
	17	定期試験に向けて総まとめ	35	定期試験に向けて総まとめ	
18	定期試験に向けて総まとめ	36	定期試験に向けて総まとめ		
成績割合	テスト	なし	学習FB方法	前期後期成績発表	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%	成績評価	出席率80%以上 S90~100 A80~89 B70~79 C60~69 D59以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール	経営学の知識は社会に出てから必ず必要とされます。一緒に学習しましょう。				

## シラバス

科目名	総合講座Ⅱ		担当者名	宮坂 友造	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	この講義は中央大学通信教育部の単位取得を目指し学習する授業となります。対象科目は、民法1(総則)、民法2(物権)、民法5(親族・相続)、刑法各論となります。これらの科目についての基礎知識、また単位取得のために必要なレポート作成の仕方を知得することを目的とします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	第一の目標は中央大学の単位取得となります。また、その過程で法的知識の習得、法の解釈の仕方、事例問題の解決力等を身につけることも目標とします。				
授業概要	民法1、民法2、民法5、刑法各論のレポート課題につき、論点の正確な把握、論文の構成の仕方、また関連する判例の読み方を学んでいきます。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	刑法各論第2課題の解説②	
	2	オリエンテーション②	20	民法1第3課題の解説①	
	3	オリエンテーション③	21	民法1第3課題の解説②	
	4	民法1第4課題の解説①	22	民法1第1課題の解説①	
	5	民法1第4課題の解説②	23	民法1第1課題の解説②	
	6	民法1第2課題の解説①	24	民法2第3課題の解説①	
	7	民法1第2課題の解説②	25	民法2第3課題の解説②	
	8	民法2第1課題の解説①	26	民法2第4課題の解説①	
	9	民法2第1課題の解説②	27	民法2第4課題の解説②	
	10	民法2第2課題の解説①	28	民法5第3課題の解説①	
	11	民法2第2課題の解説②	29	民法5第3課題の解説②	
	12	民法5第1課題の解説①	30	民法5第4課題の解説	
	13	民法5第1課題の解説②	31	刑法各論第3課題の解説①	
	14	民法5第2課題の解説①	32	刑法各論第3課題の解説②	
	15	民法5第2課題の解説②	33	刑法各論第4課題の解説	
	16	刑法各論第1課題の解説①	34	まとめ①	
	17	刑法各論第1課題の解説②	35	まとめ②	
18	刑法各論第2課題の解説①	36	まとめ③		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69 点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>5%				
講師プロフィール	中央大学通信教育部インストラクター 行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり				

## シラバス

科目名	総合講座Ⅱ		担当者名	原祥	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	日大英文学科の所定の科目を修得する。教員のサポートを受けながら、レポートを作成し、科目修得試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	以下の日大科目に合格する。 1. 英語Ⅰ(2単位) 2. 英語音声学(4単位) 3. 英文法(4単位)				
授業概要	教科書の理解、レポート課題作成、科目修得試験対策、定期試験				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	英語Ⅰレポート課題	19	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題2	
	2	英語Ⅰレポート課題	20	英文法レポート課題2	
	3	英語Ⅰレポート課題、英語Ⅰ試験対策	21	英文法レポート課題2	
	4	英語Ⅰ試験対策、英語音声学:調音器官、単音について	22	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	5	休講(みどりの村)	23	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	6	英語Ⅰ試験対策、英語音声学:母音・子音	24	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	7	英語Ⅰ試験対策、英語音声学:母音・子音	25	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	8	英語Ⅰ試験対策、英語音声学:母音・子音	26	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	9	英語音声学:語アクセント・句アクセント・文アクセント・リズム、レポート課題1	27	英文法科目修得試験対策、英語文学概説	
	10	英語音声学:語アクセント・句アクセント・文アクセント・リズム、レポート課題1	28	英語文学概説レポート課題1	
	11	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題1	29	英語文学概説レポート課題1	
	12	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	30	英語文学概説レポート課題2	
	13	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	31	英語文学概説レポート課題2	
	14	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート課題2	32	スピーチコミュニケーションレポート課題	
	15	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	33	英作文レポート課題	
	16	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	34	まとめ	
	17	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1	35	後期期末試験	
	18	前期期末試験	36	試験返却	
成績割合	テスト	20%	学習FB方法	口頭	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	70%	成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点、レポート提出	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール					

## シラバス

科目名	総合講座Ⅱ		担当者名	月本 直子	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	「国文学史Ⅰ」では日本文学史に特徴的な構造を理解し、歴史の流れの中における文学の位置づけを理解する。「国語学概論」では日本語学の多彩な研究領域及びそのその周辺領域に関する知識を身に付ける。「国文学史Ⅱ」では日本の近現代文学史の流れについて学び、主たる作家の文学史的意味付けを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日本大学通信教育部における「国文学史Ⅰ」「国語学概論」「国文学史Ⅱ」の三科目に関するレポート課題の合格及び科目修得試験の合格を見込める力を付ける。				
授業概要	いずれの科目も講義形式を中心として行う。理解の助けとして教科書内容に即したプリントを適宜使用しつつ力を付けていく。また、科目ごとに約2000字のレポート二編が課題となっているので、それらを作成するため筋道を立てて文章をまとめる技術も習得する。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	講義概要説明	19	国語学概論 「文章と文体」	
	2	国文学史Ⅰ 「日記と随筆」	20	国語学概論 「敬語」	
	3	国文学史Ⅰ レポート作成	21	国語学概論 「日本語教育」	
	4	国文学史Ⅰ 和歌	22	国語学概論 「心理言語学」	
	5	国文学史Ⅰ レポート作成	23	レポート作成	
	6	国文学史Ⅰ 上代の文学概観	24	国文学史Ⅱ 「文明開化と『文学』の変容」	
	7	国文学史Ⅰ 「上代の文学 神話・伝説・説話」	25	国文学史Ⅱ 「明治中期の小説」	
	8	国文学史Ⅰ 中古の文学概観	26	国文学史Ⅱ 「自然主義文学」	
	9	国文学史Ⅰ 「中古の文学 物語の発生と展開」	27	国文学史Ⅱ 「漱石と鷗外」	
	10	国文学史Ⅰ 「中古の文学 説話集と歴史物語」	28	国文学史Ⅱ 「耽美派」	
	11	国文学史Ⅰ 中世の文学概観	29	国文学史Ⅱ 「白樺派」	
	12	国文学史Ⅰ 「中世の文学 和歌」	30	国文学史Ⅱ 「『新思潮』と大正期教養主義」	
	13	国語学概論 概要説明	31	国文学史Ⅱ 「プロレタリア文学」	
	14	国語学概論 「音声と音韻」	32	国文学史Ⅱ 「新感覚派」	
	15	国語学概論 「音声と音韻」	33	国文学史Ⅱ 「戦後文学」	
	16	レポート作成に向けて	34	まとめ	
	17	国語学概論 「意味」	35	まとめ	
18	国語学概論 「意味」	36	まとめ		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	答案返却時に解説をする。	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S 90～100 A 80～89 B 70～79 C 60～69 D 59点以下不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>70% R<<実働実践型学習>>60% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体験型学習>>20%				
講師プロフィール	都内の中高一貫女子校で専任教員及び講師として約40年間国語を担当した経験を持つ。				